



事業の概況

事業の経過

創業8期目にあたる当期は、ヤフー株式会社との提携によるサービスの拡充に注力したほか、外国為替保証金取引（JNB-FX）の機能拡充、ローンの商品性見直し等の商品・サービスの改善に努めました。また、投資信託窓販等新サービスの導入準備を進めました。経営体制につきましては、システム処理能力増強のため、データベースサーバの更改を実施しました。金融商品取引法施行や新しい自己資本比率規制（バーゼルⅡ）への対応を進めたほか、人事専門部署の設置や、利用者保護、CS推進を目的とした組織改正を実施いたしました。

■ ヤフーとの提携 サービス拡充

2007年7月に、ヤフーとの提携により提供している「Yahoo!ネットバンキング」サービスにおいて、「受け取り後決済サービス」を開始いたしました。

2007年10月には、Yahoo!ポイントを現金化するサービスを開始いたしました。

2008年2月には、ヤフーが新たに開始した「Yahoo!外為」において、当社の外国為替保証金取引（JNB-FX）を紹介するサービスを開始しました。

■ 商品・サービスの改善

外国為替保証金取引（JNB-FX）につきましては、2007年4月に取扱通貨の追加やレバレッジ20の追加といった、お客さまの要望に基づいた機能の改善を行いました。ローン商品につきましては、2007年12月に極度型ローン「ネットキャッシング」の商品性を見直し、ご利用限度額上限の引上げ及び貸出金利の一部引下げを実施しました。

■ システム増強

2007年10月に、将来の口座数増加に備えたシステムキャパシティー確保やシステム停止時間短縮等の観点から、データベースサーバの更改を実施しました。

■ 経営体制

経営体制につきましては、経営課題に適時に対応するため、機動的な組織改正を実施しました。

2007年4月に、市場運用体制の充実化の観点から市場資金室を資金運用部に再編したほか、法令遵守体制強化のためリスク管理部法務室を設置、ローン推進強化の観点からローン業務センターの改組を実施しました。ローン業務センターは、2007年6月に汐留拠点に移転し、審査体制の見直しを実施しました。

2007年7月には、企画部に人事専門部署、財務・決算専門部署を設置する改組を実施したほか、システムリスクに関する内部統制強化の観点からシステムリスク管理部を設置、事務の効率性向上の観点から業務センターを再編しました。

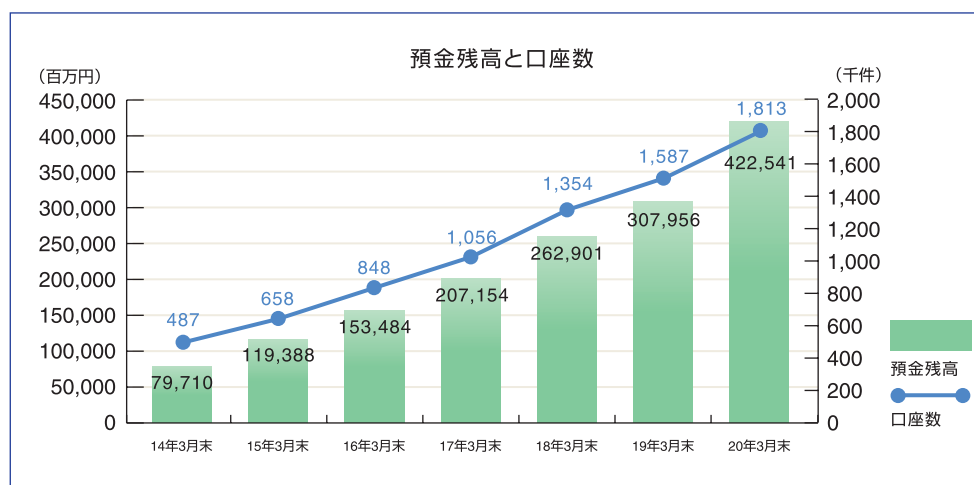
2007年11月には、CS推進部署の設置、金融商品取引法施行を踏まえたCS品質管理部の体制強化を実施しました。

2008年2月には、CS推進をさらに強化するためCS本部を設置し、カスタマーセンター等をCS本部に配置する組織再編を実施しました。システム構成の抜本的見直しを検討する次期システム統括部を設置したほか、社員の能力開発体制整備のため企画部研修室を設置しました。

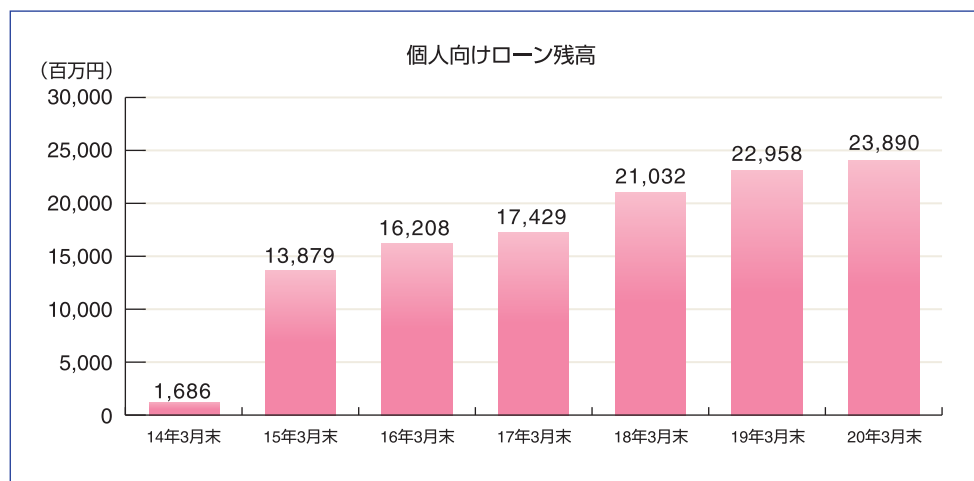
事業の成果

- **預金** 預金は、期中1,145億85百万円増加し、期末残高は4,225億41百万円となりました。このうち定期性預金は、958億28百万円増加し、期末残高は1,970億97百万円となりました。
- **貸出金** 貸出金は、期中9億32百万円増加し、期末残高は238億90百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金です。
- **有価証券** 有価証券は、期中813億42百万円増加し、期末残高は3,595億98百万円となりました。このうち国債は1,791億77百万円です。
- **総資産** 総資産は、期中1,205億21百万円増加し、期末残高は4,735億97百万円となりました。
- **内国為替取扱高** 内国為替取扱高は、前年度比6,391億3百万円増加し、6兆930億32百万円となりました。
- **損益の状況** 収益につきましては、預金の増加に伴う運用残高の増加により有価証券利息・配当金等が増加し、資金収益が増加しました。外国為替保証金取引の大幅増収等により、役務取引等収益が増加しました。また国債等債券売却益の増加により、その他業務収益が増加しました。これらにより経常収益は、前年度比50億13百万円増加し、203億52百万円となりました。
費用につきましては、預金金利の引き上げ及び預金残高の増加により、資金調達費用が増加しました。社員数の増加や、データベースサーバ更改、新商品サービス等の開始に伴い、営業経費が増加しました。また有価証券運用のヘッジに伴う金融派生商品費用の増加や、株式相場の下落による株式等売却損の計上により、その他業務費用、その他経常費用が増加しました。これらにより、経常費用は、前年度比45億3百万円増加し、195億46百万円となりました。
また、固定資産処分損23百万円を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額△291百万円を計上しました。
以上の結果、経常利益は8億5百万円、当期純利益は10億10百万円となりました。

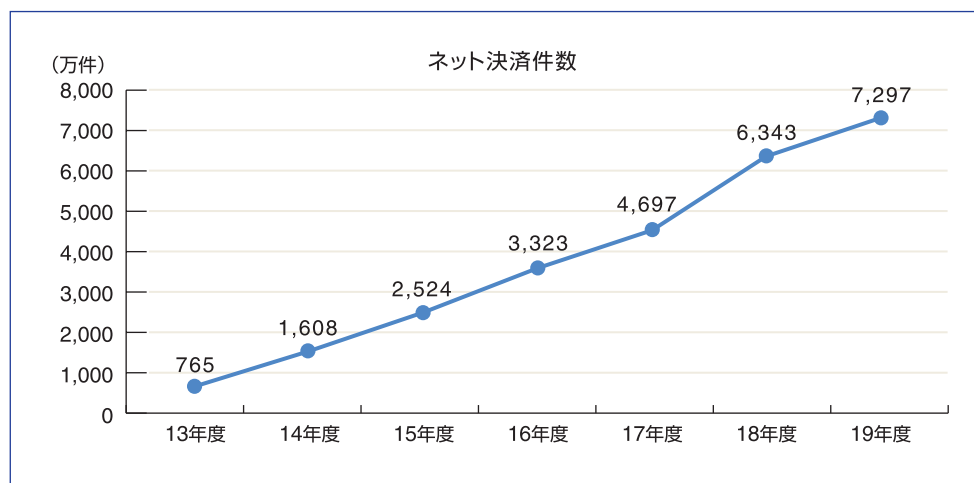
■預金残高と口座数の推移



■個人向けローン残高の推移



■ネット決済（通常の振込とXMLを利用した即時決済取引の合計件数）の推移



■当社が対処すべき課題

創業8周年を迎える本年、当社は経営基盤をさらに強固にし、成長を実現させるステージと位置づけ、役職員一同、次のとおり努力してまいります。

第一に、お客さまの満足度向上、取引の安全性向上に、より一層注力いたします。新設したCS本部を中心に、お客さまのご要望への迅速な対応やカスタマーセンターの対応品質の向上、口座の不正利用等のモニタリング強化による安全性向上に取り組みます。

第二に、ヤフー株式会社との提携の更なる拡大に取り組みます。Yahoo!ネットバンキングの機能強化により、当社の口座をお持ちでないオークション利用者へも対応し、オークション決済におけるシェアを拡大させます。

第三に、新商品・サービスの投入による競争力強化・収益力強化に取り組みます。資産運用ニーズに応える投資信託の販売の開始やスポーツ振興くじ(toto)の販売開始により、収益源の多様化を図ります。利便性の高い新しい決済サービスの導入により、決済商品の品揃えを拡充します。ビジネスアカウントや外国為替保証金取引(JNB-FX)の商品性向上を進め、利用者数の増加と収益力向上を図ります。

第四に、システム・事務基盤の強化を進めます。ネットバンキングの特性を踏まえ、最新技術を取り入れた、24時間365日フルサービスの提供を実現するシステムのグランドデザインの検討を進めます。業務内容、業容の拡大に応じた事務体制を構築するとともに、事務量や事務コストの精緻な管理やペーパーレス化の推進により、一層の事務効率化を図ります。

第五に、経営体制、リスク管理の高度化に取り組みます。人的資源の効率的配分や競争力強化のため、人事制度や研修制度の整備・向上を進めます。内部統制報告書制度(J-SOX)への対応に向けた内部統制の整備やリスクテイクの多様化に対するリスク管理体制の構築を進めます。顧客保護等の社会的要請を踏まえた内部管理体制の強化と内部監査の実施により、業務の適正性の確保に努めます。